

2011ガイドブック

菊池遺産

Kikuchi Heritage



変わらないこの山の景色、子どもの頃よく泳いだ川、
よく見た風景、緑豊かな自然、昔から伝わる伝統や建物
つなげていこう未来へ

平成21年度 第1回認定

うな ぶく たいぼく みょうけん じぞうぼさつ
① 台の棕の大木「妙見さん」と地藏菩薩



以前は、小船をつないでいたという棕の巨木があったが、枯死したため、現在は2代目の棕として、台城跡の法面に茂っており、台区のシンボルとして「妙見さん」という呼び名で親しまれている。地藏菩薩も祀られている。

うな せきとう いたび まい
② 台の石塔(板碑1枚)



凝灰岩の自然石を利用したこの石塔には、梵字(パーンク)が刻み込まれてあり、南北朝時代のもので水島の戦いで供養を意味するものではないかと考えられている。「いしぼとけさん」と呼ばれている。

うな せきとう いたび まい じぞうぼさつ とう
③ 台の石塔(板碑1枚、地藏菩薩2塔)



石塔は、凝灰岩で造られており、やや扁平な板石で、上部には、葉研彫りされた梵字(アー)が大きく刻み込まれてあり、南北朝時代のもので水島の戦いで供養を意味するものではないかと考えられている。

でんとうりょうり か し
④ 伝統料理菓子とじこまめ



菊池地方でお祭りやお祝い事の行事食として、又おやつとして、地元食材を使用して作られている伝統料理菓子。かまぼこの様に輪切りにして食べる。菊池地方でも多様な作り方がある。

まくち おんせん とうせい
⑤ 菊池温泉1号井



菊池温泉の発祥の地。限府町商工会特別委員会で、温泉掘削が決定され、深度246m、地下温度45.3℃で掘削工事を完了。昭和29年11月3日には、浴場開きが行われ、「限府温泉」と命名された。昭和37年には、「菊池温泉」と改名された。

ふるば きゅうとうしせつ
⑥ 風呂場・給湯施設



花房台地にある菊池(花房)飛行場跡地には、駐屯していた菊池通信教育隊の遺産があり、戦時中に少年飛行兵が使用していた風呂場、給湯施設が残っている。

いれいとう
⑦ 慰霊塔



終戦後、富の原に入植した開拓者達において、少年飛行兵ら38名の霊を慰めるべく、昭和26年、慰霊塔を建立。昭和32年からは、小飛会・戦友会等と区民をあげて合同慰霊祭が行われている。昭和62年に、現在の自然石に建て替えられた。

いしづち
⑧ 石鎚



久米八幡宮の境内には、石鎚という呼び名の総延長約40mの石群がある。用途や目的は不明な点が多いため、西南戦争の陣地跡とも屋敷の石塁とも言われる説もあるが、昔からイノシシやシカよけの柵と伝えられている。

はなつき じぞう
⑨ 鼻突地藏



久米集落の西の外れの三差路にあり、自然石の中央をくり抜いて、仏像を彫った中世の石板がはめ込んである。目を閉じて、遠くから歩いて像の鼻の部分に指先が当たると、良縁に恵まれるとの伝承からこのように呼ばれている。

やまざき く たまいしがき
⑩ 山崎区の玉石垣



玉石垣は、山崎区内の道路端各所で見られ、農地確保のため、住居を平地に造らず、高台に造った先人の知恵を顕彰している。玉石は、平地の水田造成のときに出土した石を使っており、再利用や、景観を形成するうえでも優れている。

うまう
⑪ 馬売り



中片地区や虎口地区で行われ、農耕馬への感謝から始まったと伝えられている。1月14日に、座元宅で、親達がワラと竹で馬を作り、子ども達が馬を配る伝統行事。ワラでできた馬は、豊作や家内安全をもたらす縁起物とされている。

そんしゃ さ ほ がわはちまんぐう はるまつ あきまつ
12 村社佐保川八幡宮と春祭り・秋祭り



菊池則隆が菊の池城を築城後、祭神を応神天皇として佐保川八幡宮を勧請。洪水や焼失により再建され、御遷座を経て平成8年に現在の社殿に改築された。春祭り、秋祭りなどが伝統行事として地域住民に継承されている。

ひらの く こうたいじんぐう
13 平野区皇大神宮



泗水平野区の先祖がお伊勢参りをしたときに、伊勢神宮の神札を受けて持ち帰り、お堂を建立したとされているため、通称平野伊勢神宮と呼ばれている。この加護によって、地区には火災が起こらないと言われていた。

た り きほうぎゅうせきぶつ
14 他力放牛石仏



鍛冶職人の父七左衛門の死後、息子は仏門に入り、放牛と改めて父の菩提を弔うため107体の石仏を建立した。この石仏は50体目で、享保13年9月に、現在地に建立されたものである。

えんじゅ た ろう や しきあと
15 延寿太郎屋敷跡



菊池氏に刀鍛冶として仕えた円寿太郎国村が、砂鉄の採取や用水・交通の便が良いなど、製鉄に適していた西寺に屋敷を構えた。延寿は同田貫と共に肥後に於ける代表的刀工で、後に「菊池千本槍」と呼ばれる槍を作った。

きよみずすいげん すぎ たいぼく
16 清水水源と杉の大木



七城町清水区にある水源は、熊本県名水百選に選ばれた湧水地で、三百年を越す大杉が横たわっており、その水源(杉の下)から湧水が湧き出ている。この水源は、四町程の水田を潤し、清水の地名の由来にもなっている。

きく ち よしゆき はか
17 菊池能運の墓



菊池能運は、玉名の高瀬での叔父の宇土為光との戦いがもたで、隈府城で病床にあった。永正元年、病状が好転せず、23歳の若さで永眠した。遺体は、隈府正観寺桐の木の実相院に葬られ、菊池氏の正統は22代で絶えた。

きく ち たけみつしんとう ひ ぶつどうらい
18 菊池武光神道碑等の仏塔類



菊池武光は、楠木正成と並んで竜虎と称される稀代の名将で、その生涯は戦いに明け暮れた。墓は、安永8年に、湊川神社の楠木正成墓を模して建てられた。武政、武澄、武国の宝篋印塔型の墓は、正観寺内墓碑群の中にある。

ゆう じ さんしやうかんじ くり
19 熊耳山正観寺庫裏



菊池武光が、博多の臨濟宗聖福寺の大方元恢を招いて興国5年に建立した寺院。菊池氏全盛の頃、境内には万松院など14坊や堂宇が建ち並び、菊池為邦の頃は、全国十刹に数えられ、高僧を輩出した西国屈指の大寺院であった。

ゆう じ さんしやうかんじ そ せきぐん
20 熊耳山正観寺の礎石群



正観寺地蔵堂の基壇の周囲に礎石群がある。原初の礎石は20個とみられており、礎石の周辺から古代の布目瓦が灰と共に出土している。遺物や周囲の状況から古代の寺院跡と考えられ、堂宇や庫裏があったと想定される。

ゆう じ さんしやうかんじ し ぞうどう
21 熊耳山正観寺地蔵堂と木造地蔵菩薩坐像



正観寺庫裏の南の下にある平地に、近世末に改築された地蔵堂があり、室町後期作の木造地蔵菩薩坐像一躯が安置されている。本像は樟の寄木造りで彩色されており、像高は159cmに達し、坐像としては県下最大級の巨像。

し ほんちやくしやくしやうざんげんちゆうおしやうがぞう
22 紙本著色秀山元中和尚画像
 し ほんちやくしやくしやうざんげんかい おしやうが ぞう
紙本著色大方元恢和尚画像



菊池武光によって興国5年に創建の熊耳山正観寺の開山である秀山元中和尚とその法嗣、大方元恢和尚の肖像画。秀山像は経を読みながら歩き回る経行立像。大方像は、曲るくの椅子坐像。

しやうかんじ くす
23 正観寺の樟



菊池武光の菩提寺である熊耳山正観寺の西北隅にある大木。樹高34m、根まわり10.5m、樹齢は約600年と推定される。クスノキは武光の「墓木」と称せられ、墓標として植えられたものといわれている。

ひめいばし うまばし
24 姫井橋(馬橋)



県道329号原・植木線合志川に架かる下路式アーチRC型の鉄筋コンクリート製で、大正14年に完成した橋長18mの橋梁。初めて牛馬が通れるようになったので、通称「馬橋」と呼ばれている。

いわもとえんつうじ し せきこうえん
25 岩本円通寺史跡公園



寺院は、菊池一族の信仰の中心として繁栄したが、天正年間に戦禍に焼き払われた。寛文7年、玄喜主座により再興した。明治33年、本堂裏の屏風岩に88箇所の修行道が区民により作られ、石楠花園も整備されている。

きくのいけじょう ふかがわやかたあと
26 菊之池城(深川館)跡



別名を菊池古城・深川城・雲上城といい、大宰府の府官であった藤原則隆が館を構えた所で、城としての備えを持っていたと考えられる。守りの城としては適していないため、南北朝の騒乱期に、守山城が菊池氏の本城となった。

きくのいけあと
27 菊之池跡



深川に、隈府扇状地の豊かな湧水地があるが、この池が菊の花の形に似ていたことから、菊之池と呼ばれ、ここから菊池の地名が起ったと言われている。池の周りに菊花が咲いていたので、菊之池と呼ばれたとも伝えられている。

きくち しよだいのりたかこうぼしよなら とんぐう
28 菊池氏初代則隆公墓所並びに頼宮



大宰府将監だった菊池則隆は、延久2年に深川に居館し、菊之城を構えた。則隆は永保元年に死亡し、深川村上原に葬られたとされる。その墓は文化15年につくられ、3回の工事を経て、現在に至っている。

みょうれんじかんのんどう
29 妙蓮寺観音堂



泗水平野区にある妙蓮寺は、合志33箇所の31番札所。平安時代に開山され、江戸時代初期に日円和尚により再興し、その後隈府町に移転したと伝えられている。聖観音立像が本尊で、韋駄天像、毘沙門天像も祀られている。

平成22年度
第2回認定

いちのせいいたにかのんどう
30 市野瀬祝谷観音堂



本尊は、十一面観世音菩薩。普段は人が行かないような所に、凝灰岩層の岩場に50畳はあろうかと思われる洞窟があり、観音堂はその中に建立している。洞窟の上に「観世音」の大文字がある。

かみまちこうだいじんぐう いせ
31 上町皇大神宮(お伊勢さん)



天照皇大神が祀られており、お伊勢さんと呼ばれ、地元の人に親しまれている。棟札には、迫間川左岸にあったものを1828年に移されたと言われている。

しょうげつざんやくしどう
32 松月山薬師堂



江戸時代の建立といわれる本堂には、薬師如来像4体、12神将が祀られている。釈迦の涅槃絵図(掛け軸)、釈尊木造も保管されている。毎年4月8日に藤田区の各班が持ち回りで、甘茶を作り参拝者に配っている。

つちあみだどう
33 土阿弥陀堂



建立年月は不詳であるが、1815年の記名石があり、それ以前より村の人々の尊崇をうけている。毎年12月14日の祭りは、田畑の泥土をもって上塗りをしており、豊作の神と言われている。

ほうえいすいどう いまむら
34 宝永隧道(今村マブ)



1704年、今・赤星・森北地区の約100haの水田への灌漑用水のために、山を掘削して作られた隧道(水のトンネル)である。全長168間(約302m)で三代目河原左衛門の三大事業の一つとされる。

あかほし い で
35 赤星井手



戸崎村大字今に堰を設けて井手口に導き入れる。この井手は、天承の末期から慶長年間において加藤清正公の代に開削したものである。

ひがしやまこうえん
36 東山公園



南北朝時代、北朝方の大友勢が南朝方の菊池一族をせめて来た時に、菊池勢が陣をかまえた所と言われている。公園内にある石棺は、城家の塚と言われている。

さいごうなんしゅうせんせい そ せんはっしょう ち
37 西郷南州先生祖先発祥の地



明治維新で活躍し、西南の役薩軍の将西郷隆盛の祖先発祥の地。一帯は菊池十八外城の一つ増永城跡で、初代の城主西郷太郎政隆は、菊池氏初代則隆の子。その後裔26代西郷九兵衛昌隆の時、薩摩に移り住んだという記録がある。

のりくら
38 法蔵さん



高田地区では水神さんのことを法蔵さんと呼んでおり、正方形に囲まれた6㎡ぐらいの端垣の中に、千個以上の丸石がピラミッド型に積上げられてあり、ご本尊はピラミッドの中心に鎮座している。ご神体は、純白の丸い川石。

だいげんすいへい か おちゅうれんの ち
39 大元帥陛下御駐輦之地



大元帥陛下御駐輦之碑は、昭和天皇が昭和6年陸軍特別大演習の際、演習を御統監された聖地として、旧清泉村により昭和14年に建立。小野崎・松島区で毎年11月12日に行幸記念式典、元旦に年賀式典を開催している。

くらだけやま ぜんこうじ ゆ やまやくし
40 鞍嶽山 善光寺(湯の山薬師)と五輪塔



真言宗の古寺で、「肥後国誌」によれば、坂上田村麻呂が筑後国に清水寺を建立して夢に感じて鞍嶽の麓に善光寺を建立したと伝えられる。本尊、薬師如来は、行基の作と言われ、7年に一度開帳される。

きく ち たかさだこう ぼ
41 菊池隆定公墓



上水次区に、三基の古塔がある。墓は五輪塔や宝篋印塔を寄せ集めて成っており、中央の高い伽藍塔は菊池隆定の墓、左右の五輪塔は、隆定の兄長野太郎隆長と弟砥川三郎秀直の菩提塔。隆定は第六代菊池隆直の第二子で第七代となる。

きく ち けいこく
42 菊池溪谷



菊池川の源で、天然生広葉樹で覆われ、その間をぬって流れる伏流水は、さまざまな瀬と淵と滝をつくり、その変化に富む渓流と美しい森林の姿は絶景。夏の平均水温は14度と低く、清流は避暑地として最適。紅葉もすばらしい。

こう か すいそう
43 高架水槽



鉄筋コンクリート造、三層構成のラーメン構造。全高13.56m。給水塔の最上部水槽には、1945年5月13日、菊池飛行場の空襲時の機銃弾の跡が挟られた状態で約30箇所確認された。

しゅうくんぼく とんぐう
44 將軍木と頓宮



県立菊池高校正門西側にある棕の巨木で樹齢600年以上と推定される。征西將軍・懐良親王の象徴とされる。樹下にある征西將軍を祭神とする頓宮で、菊池神社秋の大祭初日に神事が行なわれ、松離子能が奉納されている。

そう すがわ ゆうすい ち
45 清水川(湧水地)



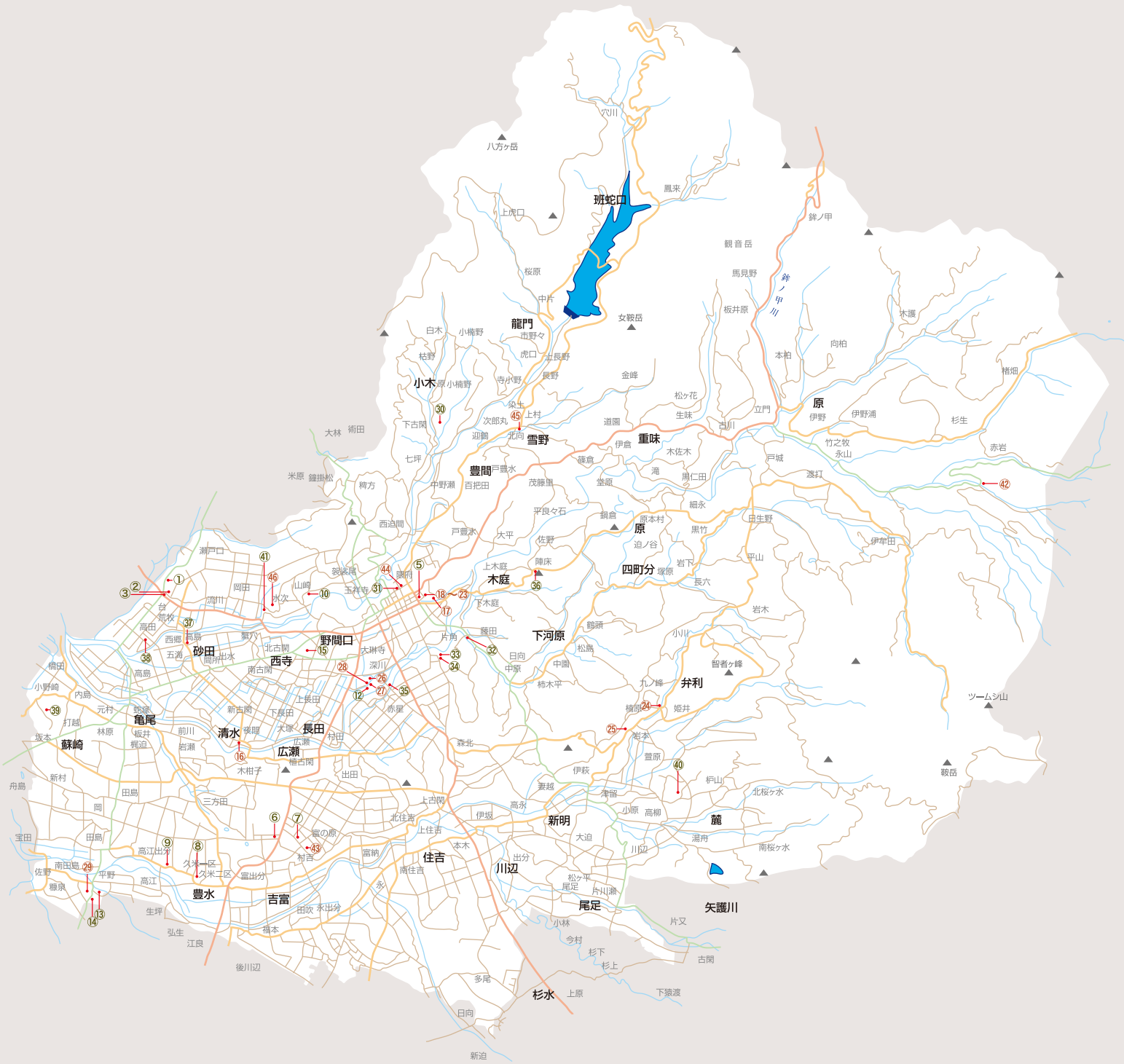
県道鯛生菊池線に沿った雪野集落にある。水稲作の用水、野菜の洗い水としての利用のほか、区民の飲料水として雪野水道組合で管理している。昭和60年8月、熊本県名水百選に選ばれており、水汲み客が多い。

かみお じょうし
46 神尾城址



城跡は丘陵末端部の古墳だが、破壊されたものと思われ、現在は阿蘇三社宮の敷地にある。境内の一面に円墳があり、赤色顔料を塗った安山岩板石が見える。別名水次城とも言い、水次氏代々の居城とも村上外記の城跡とも言われている。

菊池遺産マップ



菊池遺産一覧

ふるさと遺産

番号	認定番号	名 称	場 所	種 別	推 薦 団 体
①	H21- 1	うね ぶく たいぼくおみょうけん し そう ぼさつ 台の棕の大木「妙見さん」と地藏菩薩	菊池市七城町台365-3	複合的遺産	台区
②	H21- 2	うね せきとう いたび まい 台の石塔(板碑1枚)	菊池市七城町台544地先	有形文化遺産	台区
③	H21- 3	うね せきとう いたび まい し そう ぼさつ とう 台の石塔(板碑1枚、地藏菩薩2塔)	菊池市七城町台547-4	有形文化遺産	台区
④	H21- 4	でんどうりょうり か し 伝統料理菓子とじこまめ	菊池市隈府216-5	無形文化遺産	菊池菓子工業組合
⑤	H21- 5	きくち おんせん こうせい 菊池温泉1号井	菊池市隈府1108-18	有形文化遺産	菊池温泉観光旅館協同組合
⑥	H21- 6	ふる ば きゅうとうしせつ 風呂場・給湯施設	菊池市泗水町吉富3201の1	有形文化遺産	花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会
⑦	H21- 7	いれいとう 慰霊塔	菊池市泗水町吉富175	有形文化遺産	花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会
⑧	H21- 8	いしづち 石鎚	菊池市泗水町豊水557	有形文化遺産	久米一区
⑨	H21- 9	はなつき し そう 鼻突地藏	菊池市泗水町豊水742	有形文化遺産	久米一区
⑩	H21-10	やまざき く たまいしがき 山崎区の玉石垣	菊池市七城町山崎区道路端各所	有形文化遺産	山崎の景観保存会
⑪	H21-11	うまう 馬売り	菊池市龍門1区管内(虎口地区・中片地区)	無形文化遺産	龍門1区
⑫	H21-12	そんしゃ や さ ほ がわはちまんくわ はるまつ あきまつ 村社佐保川八幡宮と春祭り・秋祭り	菊池市深川字菊之池89番地	複合的遺産	深川区
⑬	H21-13	ひらの く こうたいじんぐわ 平野区皇大神宮	菊池市泗水町南田島324	有形文化遺産	平野区
⑭	H21-14	た りきほうせきぶつ 他力放牛石仏	菊池市泗水町南田島1835	有形文化遺産	平野区
⑮	H21-15	えんじゆ た ろう やしきあと 延寿太郎屋敷跡	菊池市西寺2116-1	有形文化遺産	下西寺区
⑳	H22- 1	いちの せいけいだにのんどう 市野瀬祝谷観音堂	菊池市市野瀬祝谷	有形文化遺産	市野瀬区
㉑	H22- 2	かみまちこうだいじんぐわ い せ 上町皇大神宮(お伊勢さん)	菊池市隈府7番地	有形文化遺産	菊池市御所通り景観形成協議会
㉒	H22- 3	しょうげつざんやくし どう 松月山薬師堂	菊池市藤田字前田20番地	有形文化遺産	藤田区
㉓	H22- 4	つちあみ だどう 土阿弥陀堂	菊池市今北山ノ上660-1	有形文化遺産	今区
㉔	H22- 5	ほうえいすいどう いまむら 宝永隧道(今村マフ)	菊池市藤田及び今	産業遺産	宝永隧道管理委員会
㉕	H22- 6	あかほしい で 赤星井手	菊池市赤星	産業遺産	赤星区
㉖	H22- 7	ひがしやまこうえん 東山公園	菊池市上木庭陣床地内	有形文化遺産	上木庭区
㉗	H22- 8	さいこうなんしゅうせんせいそんほっしょう ち 西郷南州先生祖先発祥の地	菊池市七城町砂田西郷	有形文化遺産	西郷区
㉘	H22- 9	のりくら 法蔵さん	菊池市七城町高田742	有形文化遺産	高田区
㉙	H22-10	だいげんすいへい か おちゅうれんの ち 大元帥陛下御駐輦之地	菊池市七城町小野崎字年賀塚	有形文化遺産	小野崎区
㉚	H22-11	くらだけやまぜんこう し ゆ やまやくし こりんのとう 鞍嶽山善光寺(湯の山薬師)と五輪塔	菊池市旭志麓326番地	複合的遺産	平区
㉛	H22-12	きくち たかさだこう ぼ 菊池隆定公墓	菊池市七城町水次1359-1	有形文化遺産	上水次区

特別遺産

番号	認定番号	名称	場所	種別	推薦団体
16	H21- 1	きよみずすいげん すき たいぼく 清水水源と杉の大木	菊池市七城町清水402	複合的遺産	清水区
17	H21- 2	きくち よしゆき はか 菊池能運の墓	菊池市隈府1088	有形文化遺産	東正観寺区
18	H21- 3	きくち たけみつしんとう ひ ぶつとうるい 菊池武光神道碑等の仏塔類	菊池市隈府1128	有形文化遺産	東正観寺区
19	H21- 4	ゆうじ さんしやうがんじ くり 熊耳山正観寺庫裏	菊池市隈府1128	有形文化遺産	東正観寺区
20	H21- 5	ゆうじ さんしやうがんじ そ せきぐん 熊耳山正観寺の礎石群	菊池市隈府1134-1	有形文化遺産	東正観寺区
21	H21- 6	ゆうじ さんしやうがんじ し そうどう もくそうじ そうほさつぎ そう 熊耳山正観寺地藏堂と木造地藏菩薩坐像	菊池市隈府1134-1	有形文化遺産	東正観寺区
22	H21- 7	し ほんちやくしよくうざんげんちゆうおしやうがそう 紙本著色秀山元中和尚画像 し ほんちやくしよくたいほうげんかいおしやう が そう 紙本著色大方元愷和尚画像	菊池市隈府1128	有形文化遺産	東正観寺区
23	H21- 8	しやうがんじ くす 正観寺の樟	菊池市隈府1128	自然遺産	東正観寺区
24	H21- 9	ひめい ばし うまばし 姫井橋(馬橋)	菊池市旭志弁利	有形文化遺産	姫井区
25	H21-10	いゆちとえんつうじ し せきこうえん 岩本円通寺史跡公園	菊池市旭志弁利	複合的遺産	岩本区
26	H21-11	きくのいけじやう ふかがわやか あと 菊之池城(深川館)跡	菊池市北宮字城ノ堀	有形文化遺産	深川区
27	H21-12	きくのいけあと 菊之池跡	菊池市深川字菊之池	複合的遺産	深川区
28	H21-13	きくち ししやだいのりちからう ほしよなら とんぐう 菊池氏初代則隆公墓所並びに頓宮	菊池市深川字観音の本	有形文化遺産	深川区
29	H21-14	みようれんじかんのんどう 妙蓮寺観音堂	菊池市泗水町南田島	有形文化遺産	平野区
42	H22- 1	きくち けいこく 菊池溪谷	菊池市原	自然遺産	菊池観光協会
43	H22- 2	こう かすいそう 高架水槽	菊池市泗水町吉富205-48	有形文化遺産	花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会
44	H22- 3	しやうぐんぼく とんぐう 將軍木と頓宮	菊池市隈府1331	複合的遺産	菊池市御所通り景観形成協議会
45	H22- 4	そうす かわ ゆうすいち 清水川(湧水地)	菊池市雪野字清水438番地1地先	自然遺産	雪野区
46	H22- 5	かみ おしよし 神尾城址	菊池市七城町水次	複合的遺産	上水次区

菊池遺産の分類

「菊池遺産」は、古来より大切に守り続けられてきた身近な地域の宝物から、学術的価値や芸術的価値を有する指定文化財等を含めた、広い範囲のものを「菊池遺産」とし、その大きな「菊池遺産」の中を分類するため、国、県、市といった指定等があるものを「特別遺産」とし、地域で大切にされているようなものを「ふるさと遺産」として分類しています。

「ふるさと遺産」

文化財の指定はされていないが、地域等では宝物的価値を有しているもの。

「特別遺産」

指定文化財等(「等」とは、「名水百選」等、他の選考基準で認められているものを想定しています。)



視点は異なるがどちらも市民の宝物です。

発行/平成23年3月

〒861-1392 熊本県菊池市隈府888番地/菊池市役所 企画部 企画振興課
TEL:0968-25-7250(直通) FAX:0968-25-5720 <http://www.city.kikuchi.kumamoto.jp/>